

「認知症に関する世論調査」の概要

内閣府政府広報室

- 1 調査目的 認知症に関する国民の意識を把握し、今後の施策の参考とする。
- 2 調査項目 (1) 認知症の人と接する機会の有無
(2) 認知症に対するイメージ
(3) 認知症になった場合の暮らし
(4) 認知症に対する不安（本人自身）
(5) 認知症に対する不安（家族）
(6) 成年後見制度に関する認知
- 3 関係省庁 厚生労働省
- 4 調査対象 (1) 母集団 全国 18 歳以上の日本国籍を有する者
(2) 標本数 3,000 人
(3) 抽出方法 層化 2 段無作為抽出法
- 5 調査時期 令和元年 12 月 5 日～12 月 15 日
- 6 調査方法 調査員による個別面接聴取法
- 7 調査実施機関 一般社団法人 中央調査社
- 8 回収結果 (1) 有効回収数(率) 1,632 人 (54.4%)
(2) 調査不能数(率) 1,368 人 (45.6%)
－不能内訳－
転居 121 長期不在 77 一時不在 566
住所不明 21 拒否 511 災害 0
その他 72
(病気など)

9 性・年齢別回収結果

性・年齢	標本数	回収数	回収率	性・年齢	標本数	回収数	回収率	性・年齢	標本数	回収数	回収率			
			%				%				%			
男	18～19歳	58	27	46.6	男	18～19歳	35	17	48.6	女	18～19歳	23	10	43.5
	20～29歳	284	103	36.3		20～29歳	142	52	36.6		20～29歳	142	51	35.9
	30～39歳	407	178	43.7		30～39歳	189	69	36.5		30～39歳	218	109	50.0
女	40～49歳	491	263	53.6	女	40～49歳	254	121	47.6	女	40～49歳	237	142	59.9
	50～59歳	488	296	60.7		50～59歳	240	132	55.0		50～59歳	248	164	66.1
計	60～69歳	480	311	64.8	計	60～69歳	219	132	60.3	計	60～69歳	261	179	68.6
	70歳以上	792	454	57.3		70歳以上	349	213	61.0		70歳以上	443	241	54.4
計	計	3,000	1,632	54.4	計	計	1,428	736	51.5	計	計	1,572	896	57.0

調査結果の概要

1 認知症の人と接する機会の有無

(1) 認知症の人と接する機会の有無

今までに認知症の人と接したことがあるか聞いたところ、「ある」と答えた者の割合が 61.6%、「ない」と答えた者の割合が 37.7%となっている。

都市規模別に見ると、大きな差異は見られない。

性別に見ると、「ある」と答えた者の割合は女性で、「ない」と答えた者の割合は男性で、それぞれ高くなっている。

年齢別に見ると、「ある」と答えた者の割合は 50 歳代、60 歳代で、「ない」と答えた者の割合は 18～29 歳で、それぞれ高くなっている。

(図 1、表 1)

図 1 認知症の人と接する機会の有無

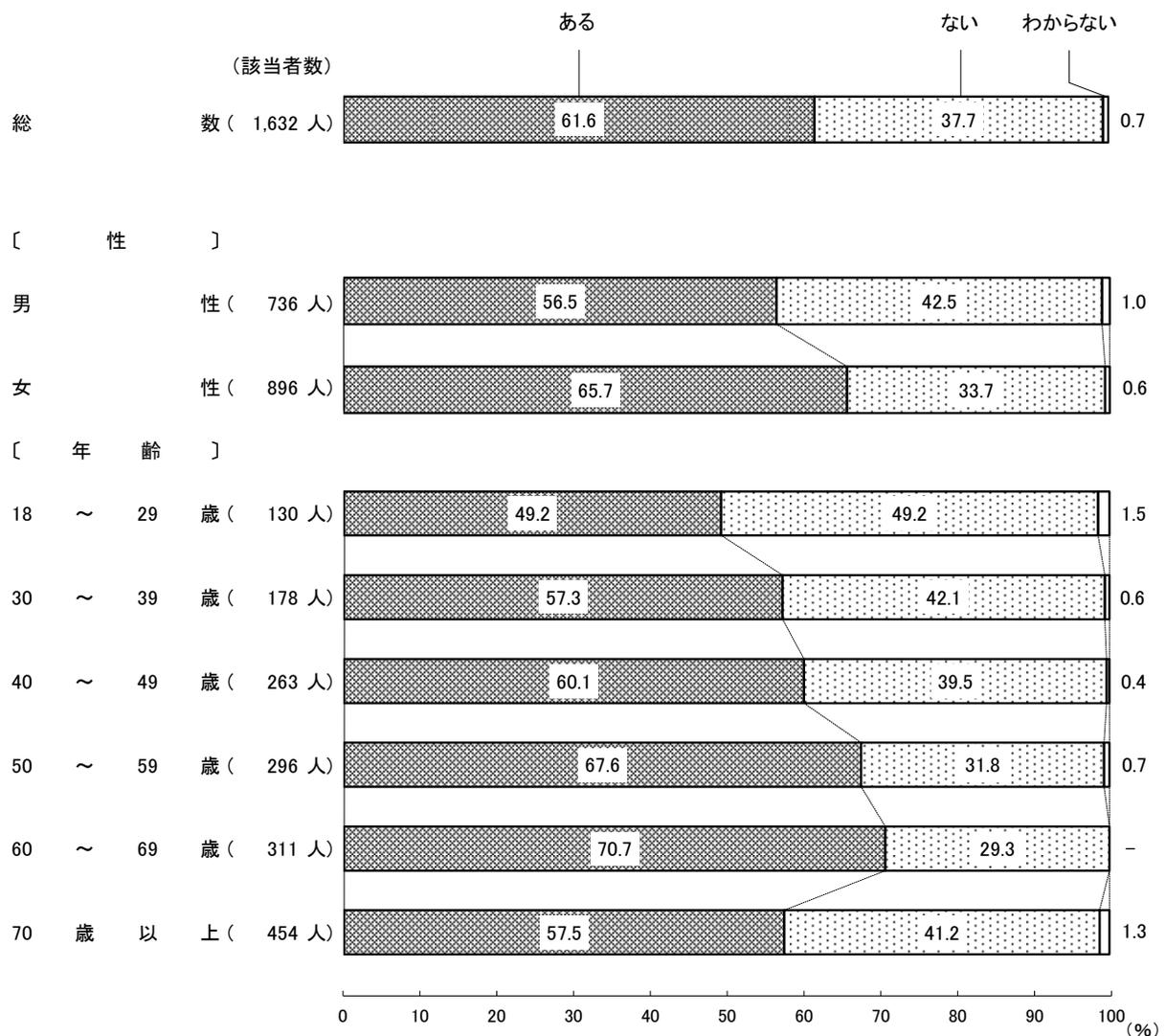


表1 認知症の人と接する機会の有無

	該 当 者 数	あ る	な い	わ か ら な い
	人	%	%	%
総 〔都市規模〕 大 都 市 東 京 都 区 部 政 令 指 定 都 市 中 都 市 小 都 市 町 村 〔性〕 男 性 女 性 〔年 齢〕 18 ～ 29 歳 30 ～ 39 歳 40 ～ 49 歳 50 ～ 59 歳 60 ～ 69 歳 70 歳 以 上	1,632 430 95 335 648 403 151 736 896 130 178 263 296 311 454	61.6 64.2 63.2 64.5 62.0 59.1 58.9 56.5 65.7 49.2 57.3 60.1 67.6 70.7 57.5	37.7 35.3 34.7 35.5 37.3 40.0 39.7 42.5 33.7 49.2 42.1 39.5 31.8 29.3 41.2	0.7 0.5 2.1 - 0.6 1.0 1.3 1.0 0.6 1.5 0.6 0.4 0.7 - 1.3

表1－参考 認知症の人と接する機会の有無

	該 当 者 数	あ る	な い	わ か ら な い
	人	%	%	%
平成27年9月調査 令和元年12月調査 (うち20歳以上) 令和元年12月調査	1,682 1,605 1,632	56.4 62.2 61.6	43.3 37.1 37.7	0.3 0.7 0.7

ア 認知症の人と接する機会

今までに認知症の人と接したことが「ある」と答えた者（1,005人）に、経験したことがあるものを聞いたところ、「家族の中に認知症の人がいる（いた）」を挙げた者の割合が47.7%と最も高く、以下、「親戚の中に認知症の人がいる（いた）」（35.8%）、「近所付き合いの中で、認知症の人と接したことがある」（32.2%）、「街中などで、たまたま認知症の人を見かけたことがある」（24.9%）などの順となっている。（複数回答、上位4項目）

（図2、表2）

図2 認知症の人と接する機会

（今までに認知症の人と接したことが「ある」と答えた者に、複数回答）

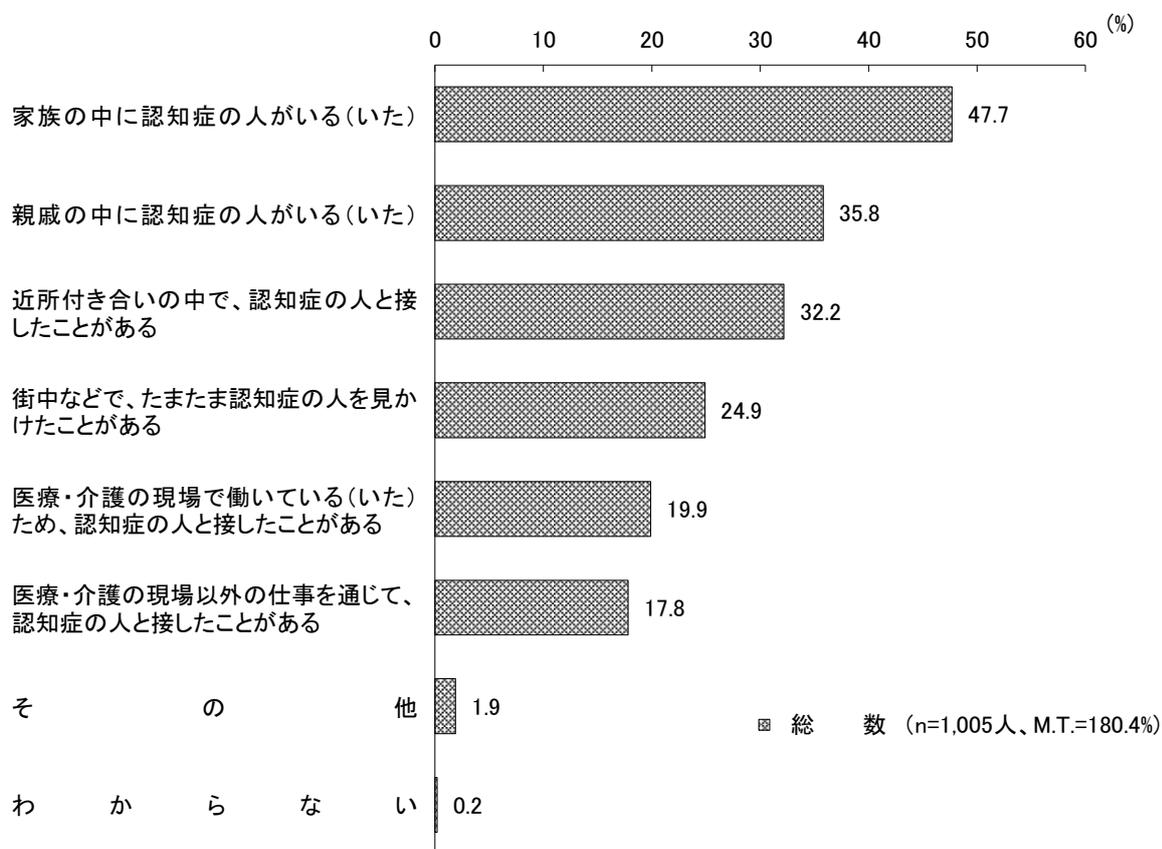


表2 認知症の人と接する機会

(今までに認知症の人と接したことが「ある」と答えた者に、複数回答)

	該 当 者 数	家 族 の 中 に 認 知 症 の 人 が い る (いた)	親 戚 の 中 に 認 知 症 の 人 が い る (いた)	近 所 付 き 合 い の 中 で 、 認 知 症 の 人 と 接 し た こ と が あ る	街 中 な ど で 、 た ま た ま 認 知 症 の 人 を 見 か け た こ と が あ る	医 療 ・ 介 護 の 現 場 で 働 い て い る (いた) た め 、 認 知 症 の 人 と 接 し た こ と が あ る	医 療 ・ 介 護 の 現 場 以 外 の 仕 事 を 通 じ て 、 認 知 症 の 人 と 接 し た こ と が あ る	そ の 他	わ か ら な い	計 (M. T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%
総 〔 都 市 規 模 〕	1,005	47.7	35.8	32.2	24.9	19.9	17.8	1.9	0.2	180.4
大 都 市 部	276	46.7	38.0	33.7	27.2	18.1	17.8	0.7	0.4	182.6
東 京 都 区	60	46.7	40.0	38.3	28.3	11.7	18.3	-	-	183.3
政 令 指 定 都 市	216	46.8	37.5	32.4	26.9	19.9	17.6	0.9	0.5	182.4
中 都 市	402	51.0	35.3	28.6	26.4	22.1	20.4	2.7	-	186.6
小 都 市	238	45.0	33.6	34.9	19.3	17.6	14.3	1.7	-	166.4
町 村	89	42.7	37.1	37.1	25.8	21.3	15.7	2.2	1.1	183.1
〔 性 〕										
男 性	416	46.4	36.5	31.0	25.2	13.5	17.1	1.7	0.2	171.6
女 性	589	48.6	35.3	33.1	24.6	24.4	18.3	2.0	0.2	186.6
〔 年 齢 〕										
18 ～ 29 歳	64	35.9	34.4	14.1	10.9	28.1	10.9	7.8	-	142.2
30 ～ 39 歳	102	46.1	31.4	18.6	24.5	30.4	21.6	1.0	-	173.5
40 ～ 49 歳	158	46.2	34.2	25.9	24.7	24.1	23.4	0.6	1.3	180.4
50 ～ 59 歳	200	51.0	39.5	27.0	29.0	22.5	18.0	0.5	-	187.5
60 ～ 69 歳	220	60.5	36.8	36.8	26.8	15.9	18.6	1.8	-	197.3
70 歳 以 上	261	38.7	35.2	46.0	23.8	12.6	13.8	2.7	-	172.8

表2-参考 認知症の人と接する機会

(今までに認知症の人と接したことが「ある」と答えた者に、複数回答)

	該 当 者 数	家 族 の 中 に 認 知 症 の 人 が い る (いた)	親 戚 の 中 に 認 知 症 の 人 が い る (いた)	近 所 付 き 合 い の 中 で 、 認 知 症 の 人 と 接 し た こ と が あ る	街 中 な ど で 、 た ま た ま 認 知 症 の 人 を 見 か け た こ と が あ る	医 療 ・ 介 護 の 現 場 で 働 い て い る (いた) た め 、 認 知 症 の 人 と 接 し た こ と が あ る	医 療 ・ 介 護 の 現 場 以 外 の 仕 事 を 通 じ て 、 認 知 症 の 人 と 接 し た こ と が あ る	そ の 他	わ か ら な い	計 (M. T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平 成 27 年 9 月 調 査	949	43.5	37.2	33.5	19.8	17.7	17.8	1.2	0.2	170.9
令 和 元 年 12 月 調 査 (う ち 20 歳 以 上)	998	47.5	36.0	32.5	24.9	19.8	17.9	1.8	0.2	180.7
令 和 元 年 12 月 調 査	1,005	47.7	35.8	32.2	24.9	19.9	17.8	1.9	0.2	180.4

2 認知症に対するイメージ

(1) 認知症に対するイメージ

認知症に対してどのようなイメージを持っているか聞いたところ、「認知症になっても、できないことを自ら工夫して補いながら、今まで暮らしてきた地域で、今までどおり自立的に生活できる」と答えた者の割合が6.9%、「認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していける」と答えた者の割合が32.6%、「認知症になると、身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用することが必要になる」と答えた者の割合が40.0%、「認知症になると、暴言、暴力など周りの人に迷惑をかけてしまうので、今まで暮らしてきた地域で生活することが難しくなる」と答えた者の割合が8.0%、「認知症になると、症状が進行してゆき、何もできなくなってしまう」と答えた者の割合が8.4%となっている。

性別に見ると、「認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していける」と答えた者の割合は女性で、「認知症になると、身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用することが必要になる」と答えた者の割合は男性で、それぞれ高くなっている。

年齢別に見ると、「認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していける」と答えた者の割合は50歳代で、「認知症になると、身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用することが必要になる」と答えた者の割合は18～29歳で、それぞれ高くなっている。 (図3、表3)

図3 認知症に対するイメージ

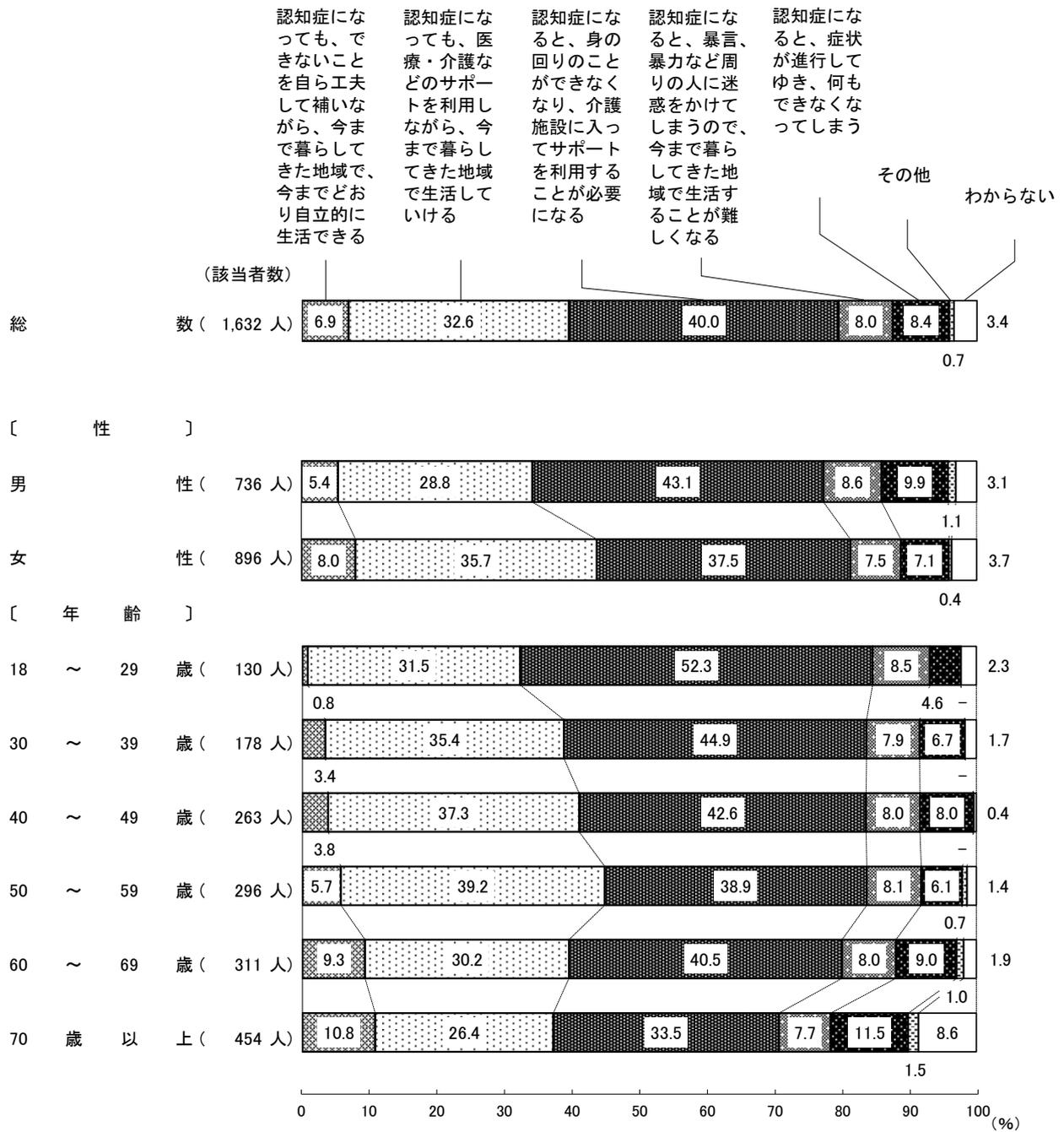


表3 認知症に対するイメージ

	該 当 者 数	で、 認知 症に なっ ても、 補い なが ら、 今ま でど おり 自立 的に 生活 でき る	認 知 症 に な っ て も、 医 療 ・ 介 護 な ど の サ ポ ー ト を 利 用 し な が ら、 今 ま で 暮 ら し て き た 地 域 で 生 活 し て い け る	認 知 症 に な る と、 身 の 回 り の こ と が で き な く な り、 介 護 施 設 に 入 っ て サ ポ ー ト を 利 用 す る こ と が 必 要 に な る	認 知 症 に な る と、 暴 言、 暴 力 な ど 周 り の 人 に 迷 惑 を か け て し ま う の で、 今 ま で 暮 ら し て き た 地 域 で 生 活 す る こ と が 難 し く な る	認 知 症 に な る と、 症 状 が 進 行 し て ゆ き、 何 も で き な く な っ て し ま う	そ の 他	わ か ら な い
	人	%	%	%	%	%	%	%
総数	1,632	6.9	32.6	40.0	8.0	8.4	0.7	3.4
〔都市規模〕								
大都市	430	7.4	30.9	38.6	7.7	10.5	1.2	3.7
東京都区部	95	6.3	27.4	50.5	5.3	6.3	-	4.2
政令指定都市	335	7.8	31.9	35.2	8.4	11.6	1.5	3.6
中都市	648	7.1	31.3	41.0	8.0	8.3	0.6	3.5
小都市	403	6.2	35.2	39.5	8.9	6.9	0.5	2.7
町	151	6.0	35.8	41.1	6.0	6.6	0.7	4.0
〔性〕								
男性	736	5.4	28.8	43.1	8.6	9.9	1.1	3.1
女性	896	8.0	35.7	37.5	7.5	7.1	0.4	3.7
〔年齢〕								
18～29歳	130	0.8	31.5	52.3	8.5	4.6	-	2.3
30～39歳	178	3.4	35.4	44.9	7.9	6.7	-	1.7
40～49歳	263	3.8	37.3	42.6	8.0	8.0	-	0.4
50～59歳	296	5.7	39.2	38.9	8.1	6.1	0.7	1.4
60～69歳	311	9.3	30.2	40.5	8.0	9.0	1.0	1.9
70歳以上	454	10.8	26.4	33.5	7.7	11.5	1.5	8.6

表3－参考 認知症に対するイメージ

	該 当 者 数	認知症になっても、 できないことを自ら工夫 して補いながら、今まで で、今までどおり自立的 に生活できる	認知症になっても、医 療・介護などのサポー トを利用しながら、今 まで暮らしてきた地域 で生活していける	認知症になると、身の 回りのことができなく なり、介護施設に入っ てサポートを利用する ことが必要になる	認知症になると、暴言、 暴力など周りの人に迷 惑をかけてしまうので、 今まで暮らしてきた地 域で生活することが難 しくなる	認知症になると、症状 が進行してゆき、何も できなくなってしまう	そ の 他	わ か ら な い
	人	%	%	%	%	%	%	%
平成27年9月調査	1,682	6.8	33.5	35.9	7.6	10.9	1.3	4.0
令和元年12月調査 (うち20歳以上)	1,605	7.0	32.8	39.6	7.9	8.5	0.7	3.5
令和元年12月調査	1,632	6.9	32.6	40.0	8.0	8.4	0.7	3.4

3 認知症になった場合の暮らし

(1) 認知症になった場合の暮らし

認知症になったとしたら、どのように暮らしたいと思うか聞いたところ、「認知症になっても、できないことを自ら工夫して補いながら、今まで暮らしてきた地域で、今までどおり自立的に生活していきたい」と答えた者の割合が 12.9%、「認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していきたい」と答えた者の割合が 28.9%、「認知症になると、身の回りのことができなくなってしまうので、介護施設で必要なサポートを利用しながら暮らしたい」と答えた者の割合が 21.6%、「認知症になると、周りの人に迷惑をかけてしまうので、介護施設で必要なサポートを利用しながら暮らしたい」と答えた者の割合が 27.7%、「認知症になったら、誰にも迷惑をかけないように、ひとりで暮らしていきたい」と答えた者の割合が 5.8%となっている。

性別に見ると、「認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していきたい」と答えた者の割合は女性で高くなっている。

年齢別に見ると、「認知症になっても、できないことを自ら工夫して補いながら、今まで暮らしてきた地域で、今までどおり自立的に生活していきたい」と答えた者の割合は70歳以上で、「認知症になると、周りの人に迷惑をかけてしまうので、介護施設で必要なサポートを利用しながら暮らしたい」と答えた者の割合は30歳代、40歳代で、それぞれ高くなっている。

(図4、表4)

図4 認知症になった場合の暮らし

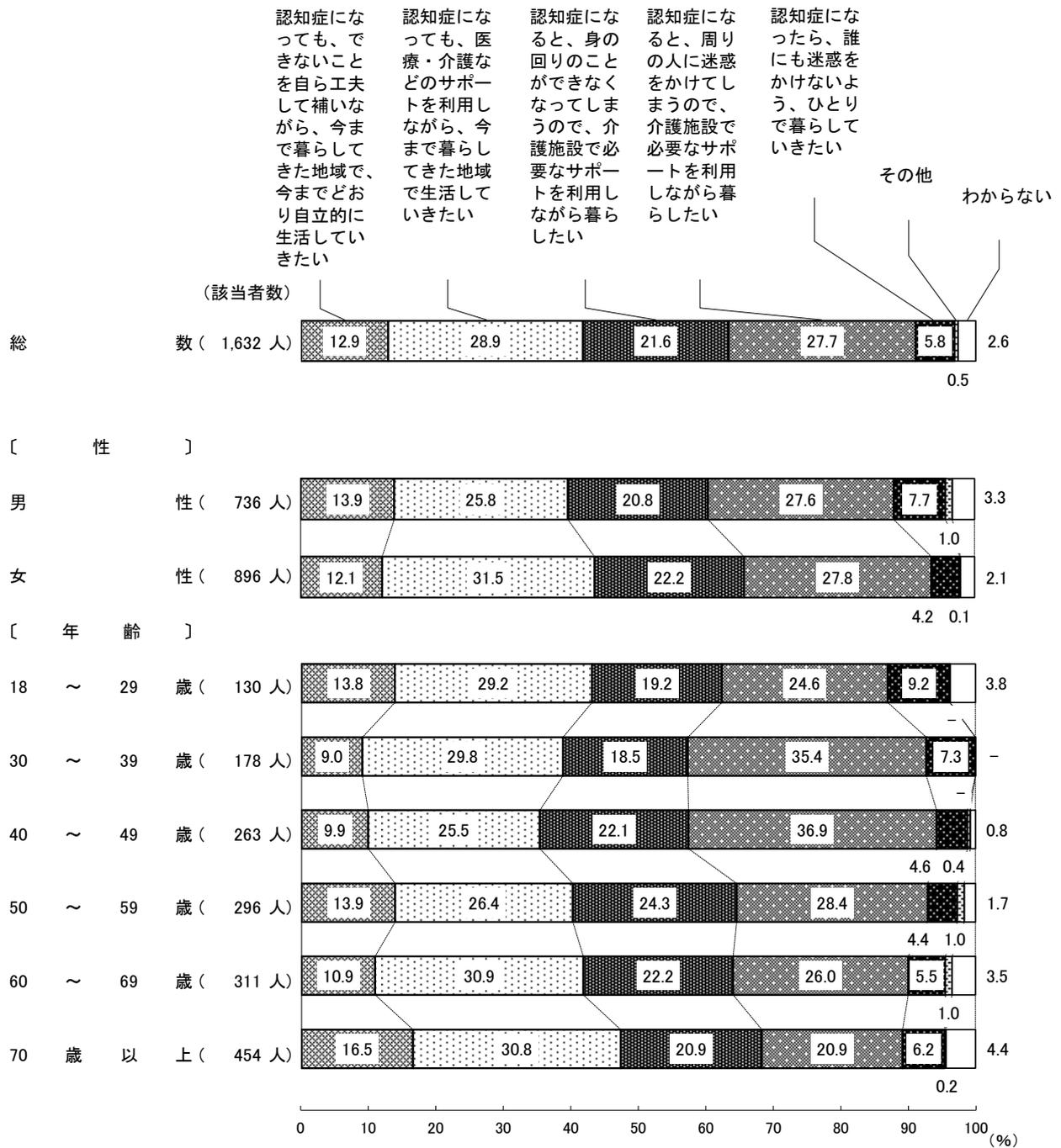


表4 認知症になった場合の暮らし

	該 当 者 数	ど お り 自 立 的 に 生 活 し て い き たい	補 い な が ら、 今 ま で 暮 ら し て い き たい	認 知 症 に な っ て も、 医 療 ・ 介 護 な ど の サ ポ ー ト を 利 用 し な が ら、 今 ま で 暮 ら し て い き たい	認 知 症 に な っ て、 身 の 回 り の こ と が で き な く な っ て し ま う の で、 介 護 施 設 で 必 要 な サ ポ ー ト を 利 用 し な が ら 暮 ら し た い	認 知 症 に な っ と、 周 り の 人 に 迷 惑 を か け て し ま う の で、 介 護 施 設 で 必 要 な サ ポ ー ト を 利 用 し な が ら 暮 ら し た い	認 知 症 に な っ たら、 誰 に も 迷 惑 を か け な い よ う、 ひ と り で 暮 ら し て い き たい	そ の 他	わ か ら な い
	人	%	%	%	%	%	%	%	%
総 〔都市規模〕 数	1,632	12.9	28.9	21.6	27.7	5.8	0.5	2.6	
大 都 市	430	11.9	27.2	22.1	29.3	5.8	0.5	3.3	
東 京 都 区 部	95	9.5	24.2	27.4	29.5	8.4	-	1.1	
政 令 指 定 都 市	335	12.5	28.1	20.6	29.3	5.1	0.6	3.9	
中 都 市	648	12.3	27.6	23.0	27.9	6.2	0.6	2.3	
小 都 市	403	15.4	32.5	17.9	25.3	6.0	0.5	2.5	
町 村	151	11.3	29.8	23.8	28.5	4.0	-	2.6	
〔性〕									
男 性	736	13.9	25.8	20.8	27.6	7.7	1.0	3.3	
女 性	896	12.1	31.5	22.2	27.8	4.2	0.1	2.1	
〔年齢〕									
18 ～ 29 歳	130	13.8	29.2	19.2	24.6	9.2	-	3.8	
30 ～ 39 歳	178	9.0	29.8	18.5	35.4	7.3	-	-	
40 ～ 49 歳	263	9.9	25.5	22.1	36.9	4.6	0.4	0.8	
50 ～ 59 歳	296	13.9	26.4	24.3	28.4	4.4	1.0	1.7	
60 ～ 69 歳	311	10.9	30.9	22.2	26.0	5.5	1.0	3.5	
70 歳 以 上	454	16.5	30.8	20.9	20.9	6.2	0.2	4.4	

表4－参考 認知症になった場合の暮らし

	該 当 者 数	ど 補 認 知 症 に な っ て も 、 ど お り 自 立 的 に 生 活 し て い き た い	認 知 症 に な っ て も 、 医 療 ・ 介 護 な ど の サ ポ ー ト を 利 用 し な が ら 暮 ら し た い	認 知 症 に な っ て も 、 身 の 回 り の こ と が で き な く な っ て し ま う の で 、 介 護 施 設 で 必 要 な サ ポ ー ト を 利 用 し な が ら 暮 ら し た い	認 知 症 に な っ て も 、 周 り の 人 に 迷 惑 を か け て し ま う の で 、 介 護 施 設 で 必 要 な サ ポ ー ト を 利 用 し な が ら 暮 ら し た い	認 知 症 に な っ たら 、 誰 に も 迷 惑 を か け な い よ う 、 ひ と と り で 暮 ら し て い き た い	そ の 他	わ か ら な い
	人	%	%	%	%	%	%	%
平成 27 年 9 月 調 査	1,682	13.4	30.3	20.2	27.5	4.6	0.4	3.7
令和 元年 12 月 調 査 (うち 20 歳 以 上)	1,605	12.8	29.0	21.6	27.8	5.7	0.5	2.6
令和 元年 12 月 調 査	1,632	12.9	28.9	21.6	27.7	5.8	0.5	2.6

4 認知症に対する不安（本人自身）

(1) 認知症に対する不安（本人自身）

認知症になったとしたら、どのようなことに不安を感じると思うか聞いたところ、「家族に身体的・精神的負担をかけるのではないか」を挙げた者の割合が73.5%と最も高く、以下、「家族以外の周りの人に迷惑をかけてしまうのではないか」（61.9%）、「家族や大切な思い出を忘れてしまうのではないか」（57.0%）、「買い物や料理、車の運転など、これまでできていたことができなくなってしまうのではないか」（56.4%）などの順となっている。（複数回答、上位4項目）

都市規模別に見ると、「家族以外の周りの人に迷惑をかけてしまうのではないか」を挙げた者の割合は大都市で高くなっている。

年齢別に見ると、「家族に身体的・精神的負担をかけるのではないか」、「家族以外の周りの人に迷惑をかけてしまうのではないか」を挙げた者の割合は30歳代から50歳代で、「家族や大切な思い出を忘れてしまうのではないか」を挙げた者の割合は18～29歳から40歳代で、「買い物や料理、車の運転など、これまでできていたことができなくなってしまうのではないか」を挙げた者の割合は50歳代で、それぞれ高くなっている。（図5、表5）

図5 認知症に対する不安（本人自身）

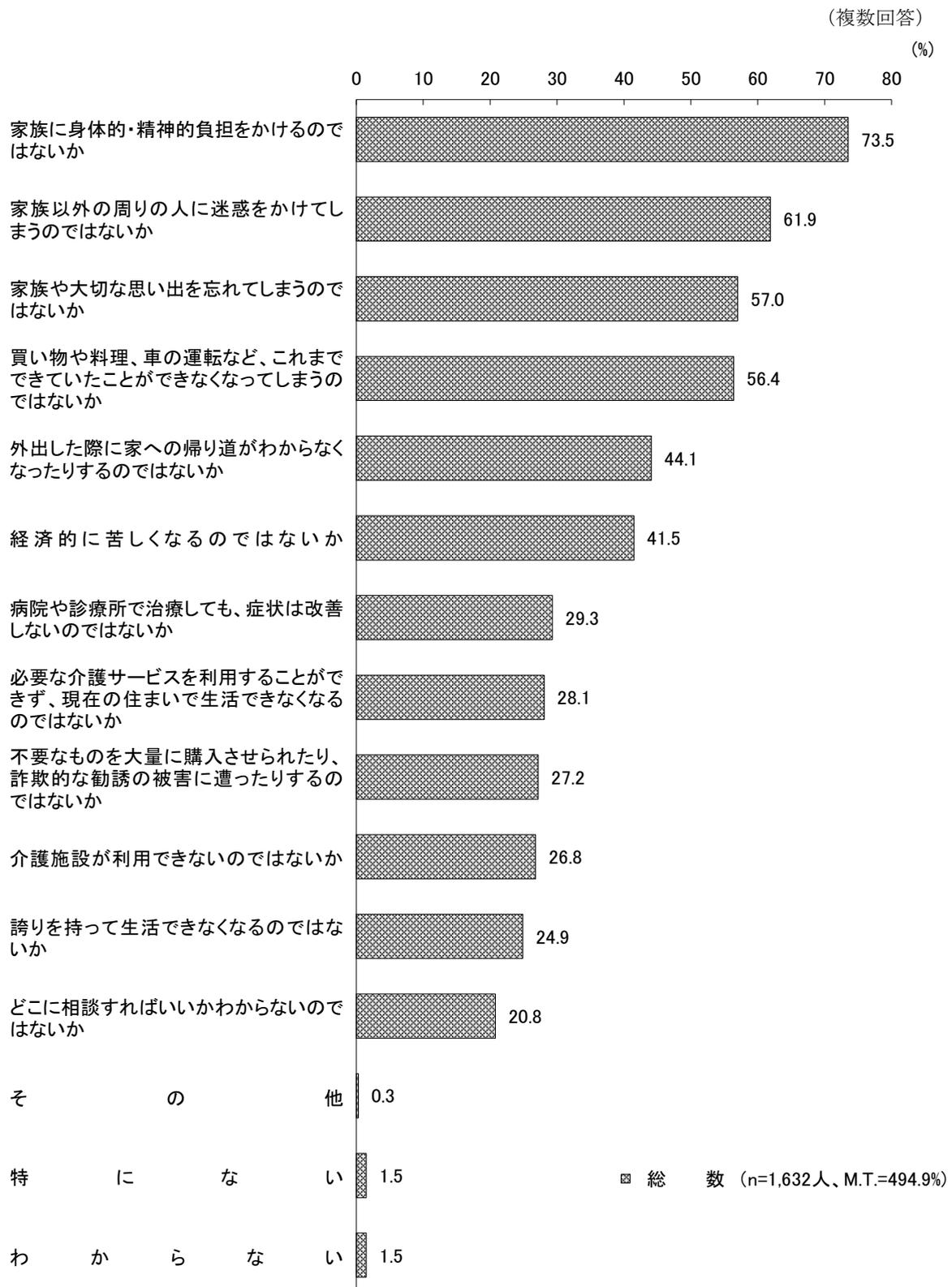


表5 認知症に対する不安（本人自身）

（複数回答）

該 当 者 数	家族に身体的・精神的負担をかけるのではないか	家族以外の人に迷惑をかけてしまうのではないか	家族や大切な思い出を忘れてしまうのではないか	買い物や料理、車の運転など、これまでできていたことができなくなってしまうのではないか	外出した際に家への帰り道がわからなくなったりするのではないか	経済的に苦しくなるのではないか	病院や診療所で治療しても、症状は改善しないのではないか	現在の住まいで生活できなくなるのではないか	必要な介護サービスを利用することができず、現在の住まいで生活できなくなるのではないか	勧誘の被害に遭ったりするのではないか	不要なものを大量に購入させられたり、詐欺的な勧誘の被害に遭ったりするのではないか	介護施設が利用できないのではないか	誇りを持って生活できなくなるのではないか	どこに相談すればいいかわからないのではないか	その他	特 に な い	わ か ら な い	計 (M. T.)
総数	1,632	73.5	61.9	57.0	56.4	44.1	41.5	29.3	28.1	27.2	26.8	24.9	20.8	0.3	1.5	1.5	494.9	
〔都市規模〕																		
大都市	430	74.9	66.5	59.8	54.9	46.5	42.1	28.8	32.3	30.0	29.1	28.1	21.2	0.2	1.9	1.2	517.4	
東京都	95	71.6	66.3	65.3	56.8	45.3	44.2	26.3	28.4	29.5	31.6	27.4	23.2	-	2.1	1.1	518.9	
政令指定都市	335	75.8	66.6	58.2	54.3	46.9	41.5	29.6	33.4	30.1	28.4	28.4	20.6	0.3	1.8	1.2	517.0	
中都市	648	74.1	63.1	57.3	56.6	45.5	42.3	29.6	28.4	27.6	28.1	25.0	21.5	0.5	0.9	1.2	501.7	
小都市	403	73.2	56.8	53.3	57.8	39.5	41.2	30.3	26.6	26.3	25.1	22.6	20.1	0.2	2.0	2.0	476.9	
町	151	68.2	57.6	58.3	55.6	43.7	37.7	26.5	18.5	19.9	19.2	21.9	18.5	-	1.3	2.0	449.0	
〔性〕																		
男性	736	71.6	61.8	54.5	54.6	41.4	42.8	30.8	27.2	26.9	24.2	24.9	20.7	0.3	1.8	1.9	485.3	
女性	896	75.1	62.1	59.2	57.8	46.3	40.5	28.0	28.8	27.5	28.9	25.0	20.9	0.3	1.2	1.1	502.7	
〔年齢〕																		
18～29歳	130	80.0	63.8	70.0	56.2	41.5	34.6	26.9	21.5	27.7	18.5	17.7	21.5	-	-	2.3	482.3	
30～39歳	178	80.3	71.9	65.7	62.4	50.0	48.9	27.5	25.8	29.2	23.6	24.2	19.1	-	0.6	0.6	529.8	
40～49歳	263	80.6	73.8	66.5	53.2	47.5	52.9	30.0	25.5	28.1	28.1	24.0	22.4	-	-	0.8	533.5	
50～59歳	296	80.4	69.3	61.1	63.9	50.7	49.0	31.4	30.7	36.1	29.7	30.1	20.9	-	0.3	-	553.7	
60～69歳	311	75.6	55.9	51.4	60.1	41.5	41.5	29.9	31.8	26.7	31.5	26.7	22.2	1.0	0.6	1.6	498.1	
70歳以上	454	59.0	50.0	45.6	48.5	38.1	29.3	28.4	28.0	20.3	24.4	23.3	19.2	0.4	4.4	2.9	421.8	

表5－参考 認知症に対する不安（本人自身）

（複数回答）

該 当 者 数	家族に身体的・精神的負担をかけるのではないか	家族以外の人に迷惑をかけてしまうのではないか	家族や大切な思い出を忘れてしまうのではないか	買い物や料理、車の運転など、これまでできていたことができなくなってしまうのではないか	外出した際に家への帰り道がわからなくなったりするのではないか	経済的に苦しくなるのではないか	病院や診療所で治療しても、症状は改善しないのではないか	現在の住まいで生活できなくなるのではないか	必要な介護サービスを利用することができず、現在の住まいで生活できなくなるのではないか	勧誘の被害に遭ったりするのではないか	不要なものを大量に購入させられたり、詐欺的な勧誘の被害に遭ったりするのではないか	介護施設が利用できないのではないか	誇りを持って生活できなくなるのではないか	どこに相談すればいいかわからないのではないか	その他	特 に な い	わ か ら な い	計 (M. T.)
平成27年9月調査	1,682	74.9	56.5	55.8	56.8	41.9	45.2	32.5	26.8	26.5	26.5	25.1	18.8	0.3	2.3	1.9	491.7	
令和元年12月調査 （うち20歳以上）	1,605	73.5	61.9	56.6	56.3	44.0	41.4	29.0	28.2	27.1	27.0	24.7	20.7	0.3	1.5	1.5	493.7	
令和元年12月調査	1,632	73.5	61.9	57.0	56.4	44.1	41.5	29.3	28.1	27.2	26.8	24.9	20.8	0.3	1.5	1.5	494.9	

5 認知症に対する不安（家族）

(1) 認知症に対する不安（家族）

家族が認知症になったら、どのようなことに不安を感じると思うか聞いたところ、「ストレスや精神的負担が大きいのではないか」を挙げた者の割合が 65.1%と最も高く、以下、「家族以外の周りの人に迷惑をかけてしまうのではないか」（58.3%）、「経済的負担が大きいのではないか」（49.7%）、「自分（あなた）や大切な思い出を忘れてしまうのではないか」（47.1%）などの順となっている。（複数回答、上位4項目）

性別に見ると、大きな差異は見られない。

（図6、表6）

図6 認知症に対する不安（家族）

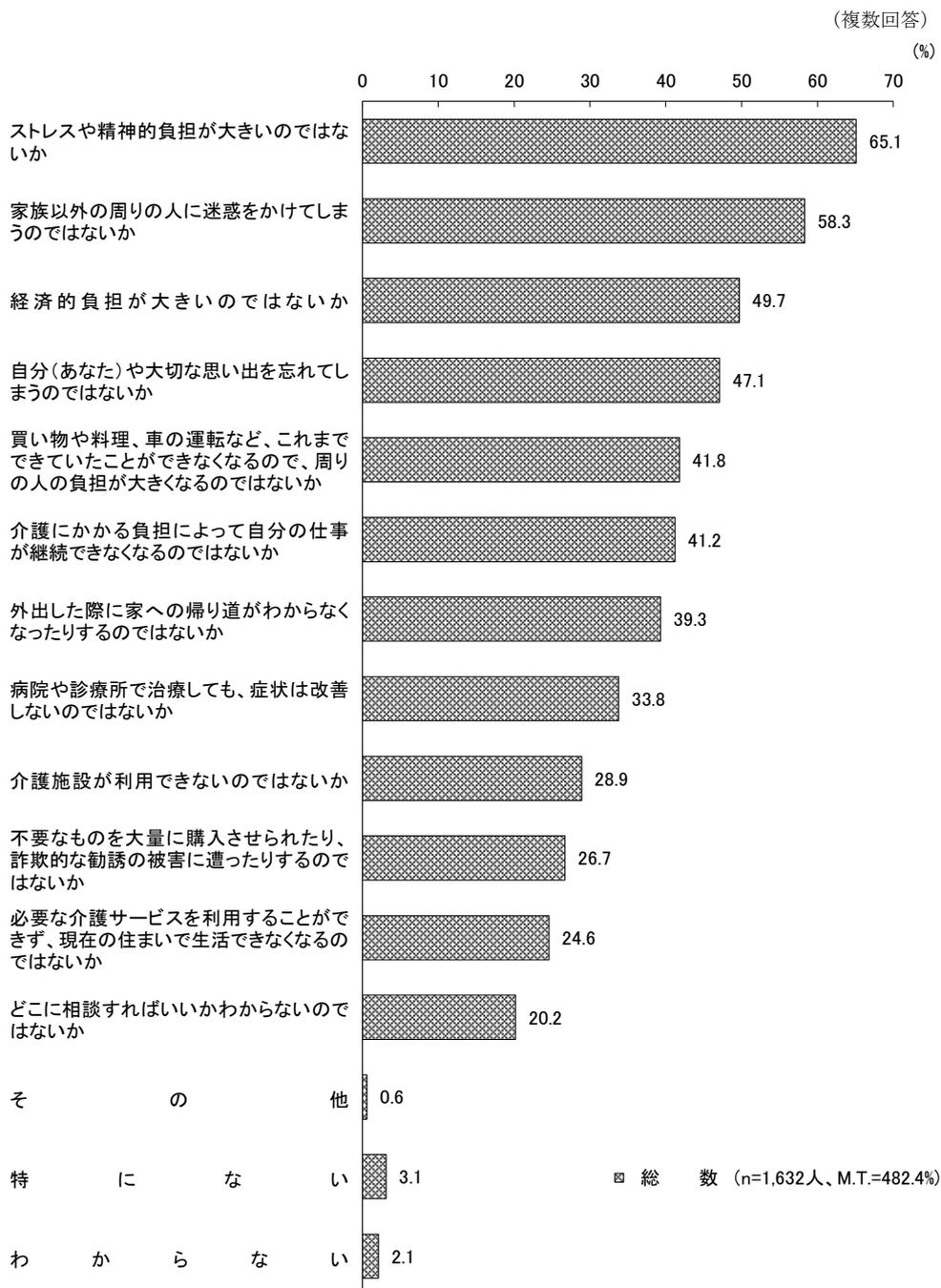


表6 認知症に対する不安（家族）

（複数回答）

該 当 者 数	ストレスや精神的負担が大きいのではないか	家族以外の周りの人に迷惑をかけてしまうのではないかと	経済的負担が大きいのではないかと	自分（あなた）や大切な思い出を忘れてしまうのではないかと	買ったことや料理、車の運転など、これまでできていたことができなくなるので、周りの人の負担が大きくなるのではないかと	介護にかかる負担によって自分の仕事が継続できなくなるのではないかと	外出した際に家への帰り道がわからなくなったのではないかと	病院や診療所で治療しても、症状は改善しないのではないかと	介護施設が利用できないのではないかと	不要なものを大量に購入させられたり、詐欺的な勧誘の被害に遭ったりするのではないかと	現在の住まいで生活できなくなるのではないかと	必要な介護サービスを利用することができず、	どこに相談すればいいかわからないのではないかと	その他	特 に な い	わ か ら な い	計 (M.T.)
																	%
総数 〔都市規模〕	1,632	65.1	58.3	49.7	47.1	41.8	41.2	39.3	33.8	28.9	26.7	24.6	20.2	0.6	3.1	2.1	482.4
大都市	430	63.3	59.3	49.1	49.1	44.0	43.0	42.1	33.5	29.5	29.8	26.5	22.1	-	3.7	1.6	496.5
東京都	95	62.1	60.0	54.7	49.5	38.9	43.2	35.8	28.4	24.2	32.6	17.9	16.8	-	1.1	4.2	469.5
政令指定都市	335	63.6	59.1	47.5	49.0	45.4	43.0	43.9	34.9	31.0	29.0	29.0	23.6	-	4.5	0.9	504.2
中都市	648	67.0	59.1	52.0	47.5	39.5	43.7	39.4	33.8	31.0	27.5	23.9	19.3	0.6	2.6	2.8	489.7
小都市	403	65.3	56.6	49.9	47.6	43.9	38.2	38.5	35.0	27.3	24.1	26.1	19.6	1.0	3.0	1.2	477.2
町	151	61.6	56.3	41.1	38.4	39.7	33.1	33.8	31.8	22.5	21.2	18.5	19.9	0.7	4.0	2.6	425.2
〔性別〕																	
男性	736	63.2	59.1	48.0	46.5	43.2	40.9	40.1	36.1	28.8	26.4	26.1	20.4	0.5	2.4	2.0	483.7
女性	896	66.6	57.6	51.1	47.7	40.6	41.4	38.7	31.9	29.0	26.9	23.4	20.0	0.6	3.7	2.1	481.4
〔年齢〕																	
18～29歳	130	63.8	56.2	46.9	56.9	40.0	41.5	48.5	33.8	25.4	32.3	19.2	20.8	-	0.8	2.3	488.5
30～39歳	178	69.7	64.6	56.7	61.8	48.3	57.9	49.4	42.1	30.9	36.0	23.6	25.3	-	0.6	0.6	567.4
40～49歳	263	77.6	68.4	60.5	55.5	48.3	60.5	45.2	33.5	32.7	35.4	23.2	23.2	-	0.8	0.4	565.0
50～59歳	296	73.6	63.9	55.4	52.4	44.9	51.7	46.6	41.2	30.1	31.4	25.3	23.0	0.3	1.0	0.3	541.2
60～69歳	311	65.0	56.9	50.5	43.7	35.0	32.2	31.5	32.5	29.6	19.6	27.3	16.7	1.0	1.9	1.6	445.0
70歳以上	454	50.9	47.8	37.2	32.6	38.5	22.7	30.0	26.9	25.8	18.1	25.1	16.7	1.1	8.4	5.1	386.8

表6－参考 認知症に対する不安（家族）

（複数回答）

該 当 者 数	ストレスや精神的負担が大きいのではないか	家族以外の周りの人に迷惑をかけてしまうのではないかと	経済的負担が大きいのではないかと	自分（あなた）や大切な思い出を忘れてしまうのではないかと	買ったことや料理、車の運転など、これまでできていたことができなくなるので、周りの人の負担が大きくなるのではないかと	介護にかかる負担によって自分の仕事が継続できなくなるのではないかと	外出した際に家への帰り道がわからなくなったのではないかと	病院や診療所で治療しても、症状は改善しないのではないかと	介護施設が利用できないのではないかと	不要なものを大量に購入させられたり、詐欺的な勧誘の被害に遭ったりするのではないかと	現在の住まいで生活できなくなるのではないかと	必要な介護サービスを利用することができず、	どこに相談すればいいかわからないのではないかと	その他	特 に な い	わ か ら な い	計 (M.T.)
																	%
平成27年9月調査	1,682	62.5	51.4	49.9	41.7	37.3	42.3	39.2	35.4	28.2	25.9	24.5	17.0	0.6	3.0	1.5	460.4
令和元年12月調査 （うち20歳以上）	1,605	65.2	58.3	50.0	46.9	41.7	41.2	39.2	33.8	29.1	26.7	24.7	20.2	0.6	3.2	2.1	482.8
令和元年12月調査	1,632	65.1	58.3	49.7	47.1	41.8	41.2	39.3	33.8	28.9	26.7	24.6	20.2	0.6	3.1	2.1	482.4

6 成年後見制度に関する認知

(1) 成年後見制度に関する認知

「成年後見制度」について、どのようなことを知っているか聞いたところ、「「成年後見制度」は、認知症、知的障害、精神障害などの理由で判断能力が不十分な方の権利や財産を守る制度である」を挙げた者の割合が40.8%と最も高く、以下、「将来の判断能力の低下に備え、元気な時にあらかじめ後見人となるべき人を決めておく「任意後見制度」がある」(30.6%)、「本人の判断能力の程度により「後見」、「保佐」、「補助」の3類型がある」(15.1%)の順となっている。なお、「内容は知らないが言葉を知っている」と答えた者の割合が22.3%、「内容も言葉も知らない」と答えた者の割合が26.7%となっている。(複数回答)

都市規模別に見ると、「「成年後見制度」は、認知症、知的障害、精神障害などの理由で判断能力が不十分な方の権利や財産を守る制度である」、「将来の判断能力の低下に備え、元気な時にあらかじめ後見人となるべき人を決めておく「任意後見制度」がある」、「本人の判断能力の程度により「後見」、「保佐」、「補助」の3類型がある」を挙げた者の割合は大都市で高くなっている。

性別に見ると、「将来の判断能力の低下に備え、元気な時にあらかじめ後見人となるべき人を決めておく「任意後見制度」がある」を挙げた者の割合は女性で高くなっている。

年齢別に見ると、「「成年後見制度」は、認知症、知的障害、精神障害などの理由で判断能力が不十分な方の権利や財産を守る制度である」、「将来の判断能力の低下に備え、元気な時にあらかじめ後見人となるべき人を決めておく「任意後見制度」がある」を挙げた者の割合は50歳代、60歳代で高くなっている。(図7、表7)

図7 成年後見制度に関する認知

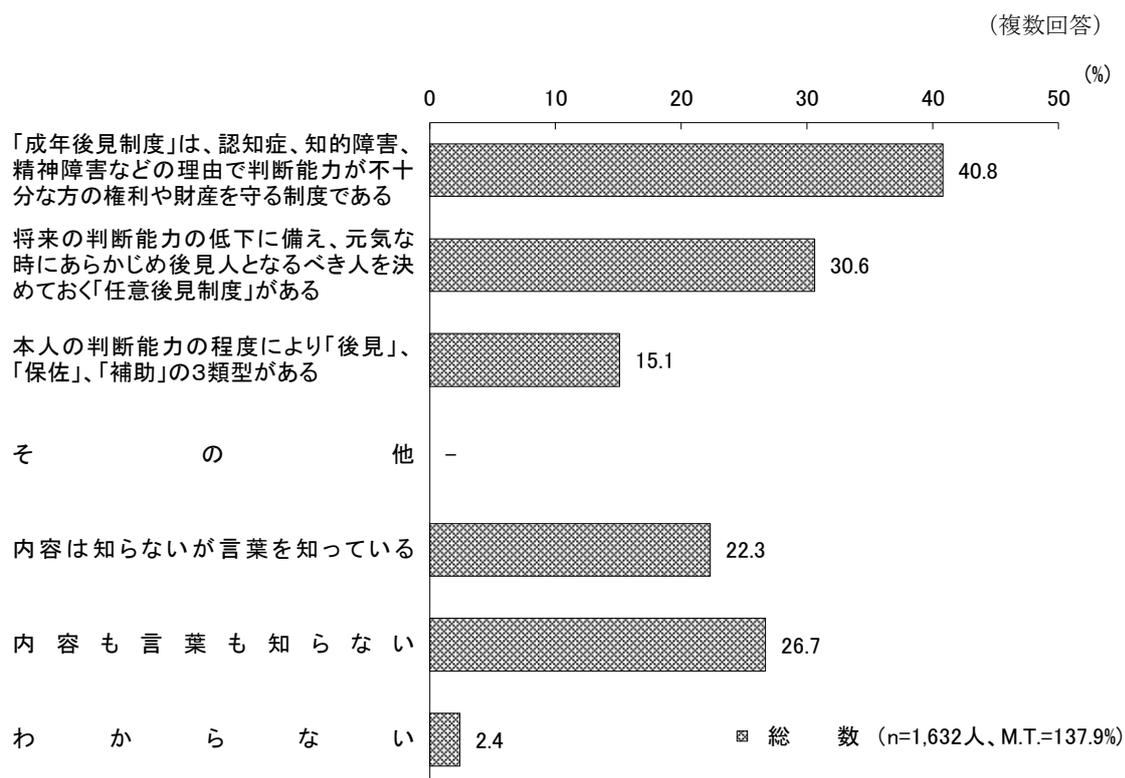


表7 成年後見制度に関する認知

(複数回答)

	該 当 者 数	方 の 精 神 障 害 な ど の 理 由 で 判 断 能 力 が 不 十 分 な る	「 成 年 後 見 制 度 」 は、 認 知 症、 知 的 障 害、 な ど の 理 由 で 判 断 能 力 が 不 十 分 な る	計 (M.T.)						
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%
総 〔 都 市 規 模 〕	1,632	40.8	30.6	15.1	-	22.3	26.7	2.4	137.9	
大 都 市	430	46.5	34.4	19.1	-	18.6	24.7	2.3	145.6	
東 京 都 区	95	49.5	37.9	25.3	-	16.8	24.2	5.3	158.9	
政 令 指 定 都 市	335	45.7	33.4	17.3	-	19.1	24.8	1.5	141.8	
中 都 市	648	42.3	31.6	15.1	-	22.7	26.5	1.7	140.0	
小 都 市	403	36.5	25.8	12.4	-	26.1	26.6	3.0	130.3	
町 〔 性 〕	151	29.8	28.5	10.6	-	21.2	33.1	4.0	127.2	
男 性	736	38.2	26.1	13.3	-	24.2	28.4	2.7	132.9	
女 性	896	43.0	34.4	16.5	-	20.8	25.2	2.1	142.0	
〔 年 齢 〕										
18 ～ 29 歳	130	20.0	14.6	12.3	-	27.7	44.6	3.1	122.3	
30 ～ 39 歳	178	32.6	22.5	12.9	-	23.6	36.5	2.2	130.3	
40 ～ 49 歳	263	41.4	30.0	16.3	-	20.2	28.1	1.5	137.6	
50 ～ 59 歳	296	50.7	36.5	14.2	-	20.9	19.9	1.0	143.2	
60 ～ 69 歳	311	51.1	38.6	18.0	-	19.3	19.9	1.9	148.9	
70 歳 以 上	454	36.1	29.5	14.5	-	24.4	25.8	4.0	134.4	

認知症に関する世論調査

令和元年 12 月

調査時期：令和元年 12 月 5 日から令和元年 12 月 15 日
調査対象：全国 18 歳以上の日本国籍を有する者 3,000 人
有効回収数(率)：1,632 人 (54.4%)

話は変わりますが、次に「認知症」に関してお聞きします。

1. 認知症の人と接する機会の有無

(【資料】を提示して、調査対象者によく読んでもらってから、以下の質問を行う。)

【資料】

認知症とは、いろいろな原因で脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪くなったりしたためにさまざまな障害が起こり、一定期間継続して生活上の支障が出ている状況を指します。2018 年には認知症の人の数は推計で 500 万人を超え、65 歳以上の高齢者の約 7 人に 1 人が認知症と見込まれています。

Q 1 あなたは今までに認知症の人と接したことがありますか。それともありませんか。

(注：ご自身が認知症であると言われた場合には、「ある」に○をする)

(61.6)

ある

(37.7)

ない

(0.7)

わからない

→ (Q 2へ)

(Q 1で「ある」と答えた方に)

S Q【回答票 1】経験したことがあるものをこの中からいくつでもあげてください。(M. A.)

(注：ご自身が認知症であると言われた場合には、「(ア) 家族の中に認知症の人がいる (いた)」に○をする)

(n=1,005)

(47.7) (ア) 家族の中に認知症の人がいる (いた)

(35.8) (イ) 親戚の中に認知症の人がいる (いた)

(32.2) (ウ) 近所付き合いの中で、認知症の人と接したことがある

(19.9) (エ) 医療・介護の現場で働いている (いた) ため、認知症の人と接したことがある

(17.8) (オ) 医療・介護の現場以外の仕事を通じて、認知症の人と接したことがある

(24.9) (カ) 街中などで、たまたま認知症の人を見かけたことがある

(1.9) その他 ()

(0.2) わからない

(M.T.=180.4)

2. 認知症に対するイメージ

(全員の方に)

Q 2 [回答票 2] あなたは認知症に対してどのようなイメージを持っていますか。あなたが思う最も近いものを1つだけお答えください。

- (6.9) (ア) 認知症になっても、できないことを自ら工夫して補いながら、今まで暮らしてきた地域で、今までどおり自立的に生活できる
- (32.6) (イ) 認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していける
- (40.0) (ウ) 認知症になると、身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用することが必要になる
- (8.0) (エ) 認知症になると、暴言、暴力など周りの人に迷惑をかけてしまうので、今まで暮らしてきた地域で生活することが難しくなる
- (8.4) (オ) 認知症になると、症状が進行してゆき、何もできなくなってしまう
- (0.7) その他 ()
- (3.4) わからない

3. 認知症になった場合の暮らし

Q 3 [回答票 3] もし、あなたが認知症になったら、どのように暮らしたいと思いますか。あなたが思う最も近いものを1つだけお答えください。

(注：既にご自身が認知症である場合には、「では、今後どのように暮らしたいと思いますか。あなたが思う最も近いものを1つだけお答えください。」と読み替える)

- (12.9) (ア) 認知症になっても、できないことを自ら工夫して補いながら、今まで暮らしてきた地域で、今までどおり自立的に生活していきたい
- (28.9) (イ) 認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していきたい
- (21.6) (ウ) 認知症になると、身の回りのことができなくなってしまうので、介護施設で必要なサポートを利用しながら暮らしたい
- (27.7) (エ) 認知症になると、周りの人に迷惑をかけてしまうので、介護施設で必要なサポートを利用しながら暮らしたい
- (5.8) (オ) 認知症になったら、誰にも迷惑をかけないよう、ひとりで暮らしていきたい
- (0.5) その他 ()
- (2.6) わからない

4. 認知症に対する不安（本人自身）

Q 4〔回答票4〕もし、あなたご自身が認知症になったとしたら、どのようなことに不安を感じると思いますか。特に不安と感じるものをこの中からいくつでもあげてください。（M. A.）

（注：既にご自身が認知症である場合には、「では、どのようなことに不安を感じていますか。特に不安と感じるものをこの中からいくつでもあげてください。」と読み替える）

- (57.0) (ア) 家族や大切な思い出を忘れてしまうのではないか
- (56.4) (イ) 買い物や料理、車の運転など、これまでできていたことができなくなってしまうのではないか
- (24.9) (ウ) 誇りを持って生活できなくなるのではないか
- (29.3) (エ) 病院や診療所で治療しても、症状は改善しないのではないか
- (20.8) (オ) どこに相談すればいいかわからないのではないか
- (73.5) (カ) 家族に身体的・精神的負担をかけるのではないか
- (41.5) (キ) 経済的に苦しくなるのではないか
- (28.1) (ク) 必要な介護サービスを利用することができず、現在の住まいで生活できなくなるのではないか
- (26.8) (ケ) 介護施設が利用できないのではないか
- (44.1) (コ) 外出した際に家への帰り道がわからなくなったりするのではないか
- (27.2) (サ) 不要なものを大量に購入させられたり、詐欺的な勧誘の被害に遭ったりするのではないか
- (61.9) (シ) 家族以外の周りの人に迷惑をかけてしまうのではないか
- (0.3) その他 ()
- (1.5) 特にない
- (1.5) わからない (M.T.=494.9)

5. 認知症に対する不安（家族）

Q 5〔回答票5〕もし、あなたのご家族が認知症になったとしたら、あなたはどのようなことに不安を感じると思いますか。特に不安と感じるものをこの中からいくつでもあげてください。

(M. A.)

(注：既にご家族に認知症の方がいる場合には、「では、ご家族の認知症について、あなたはどのようなことに不安を感じていますか。特に不安と感じるものをこの中からいくつでもあげてください。」と読み替える)

- (47.1) (ア) 自分（あなた）や大切な思い出を忘れてしまうのではないか
- (41.8) (イ) 買い物や料理、車の運転など、これまでできていたことができなくなるので、周りの人の負担が大きくなるのではないか
- (33.8) (ウ) 病院や診療所で治療しても、症状は改善しないのではないか
- (20.2) (エ) どこに相談すればいいかわからないのではないか
- (65.1) (オ) ストレスや精神的負担が大きいのではないか
- (49.7) (カ) 経済的負担が大きいのではないか
- (41.2) (キ) 介護にかかる負担によって自分の仕事が継続できなくなるのではないか
- (24.6) (ク) 必要な介護サービスを利用することができず、現在の住まいで生活できなくなるのではないか
- (28.9) (ケ) 介護施設が利用できないのではないか
- (39.3) (コ) 外出した際に家への帰り道がわからなくなったりするのではないか
- (26.7) (サ) 不要なものを大量に購入させられたり、詐欺的な勧誘の被害に遭ったりするのではないか
- (58.3) (シ) 家族以外の周りの人に迷惑をかけてしまうのではないか
- (0.6) その他 ()
- (3.1) 特にない
- (2.1) わからない

(M.T.=482.4)

6. 成年後見制度に関する認知

Q 6〔回答票6〕あなたは、「成年後見制度」について、どのようなことを知っていますか。この中からいくつでもあげてください。(M. A.)

- (40.8) (ア) 「成年後見制度」は、認知症、知的障害、精神障害などの理由で判断能力が不十分な方の権利や財産を守る制度である
- (15.1) (イ) 本人の判断能力の程度により「後見」、「保佐」、「補助」の3類型がある
- (30.6) (ウ) 将来の判断能力の低下に備え、元気な時にあらかじめ後見人となるべき人を決めておく「任意後見制度」がある
- (22.3) (エ) 内容は知らないが言葉を知っている
- (26.7) (オ) 内容も言葉も知らない
- (-) その他 ()
- (2.4) わからない

(M.T.=137.9)